

# 五小っ子

平成30年度 学校便り第2号 ( 4月18日)

島原市立第五小学校  
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**  
『生命を大切にし、進んで学ぶ  
心身ともにたくましい子どもを育成する』  
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい  
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を  
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

## やさしさいっぱい

春の嵐が過ぎ、陽春の季候を感じる日々が戻ってきました。

始業式・入学式から2週間を経過した326名の五小っ子たちも、新しい環境に少しずつ自分のペースを取り戻しつつあります。

好天に恵まれた先週4月13日(金)に行った『1年生を迎える会&歓迎遠足』の様子をお知らせします。

ちょっぴり緊張している1年生たちをリラックスさせようと上級生が色々なゲーム



を用意してくれていましたし、各委員会や各学級が色々な仕事を担当してくれたおかげで体育館が子どもたちの笑顔と歓声に包まれていました。

上級生達が「1年生を歓迎し、思いやりをもって接するぞ!」という目的をもって昨年度末から準備を整えてくれた成



果だと思えます。

「上級生が困っている1年生によく声をかけ、優しくお世話していた。」との評価も得られました。1年生からの発表も可愛くて上手で、みんな驚きました。次はひょうたん池公園を目指しての歓迎遠足に出発です。途中6年生が横断の仕方を指導しながらゆっくりゆっくり歩きます。公園での遊びやお弁当のお世話も最後までしてくれた6年生ありがとう。最高の天気の中、みんなで思いっきり楽しんだ歓迎遠足でした。



## たくましさいっぱい

4月16日(月)3時間目に在校時の地震発生を想定した避難訓練を実施しました。



非常ベルの後の校内放送で地震発生が告げられ、担任が一次避難を指示します。直ちに机の下にもぐり、落下物から身を守ります。揺れがおさまったのを確かめ運動場への二次避難が放送で指示されました。校舎内では窓からはなれて頭を保護しながら「お・か・し・も」を守って移動します。**(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)**運動場へ出たら、決められた場所へ駆け足で集合です。二次避難の指示から全校児童の安全確認完了まで3分35秒でした。

講評では、所要時間としては合格点をあげましたが、もっと真剣さが必要であると、厳しく指導しました。

日常の集団行動訓練(体育での授業・教室から体育館等への一斉移動)がいざという時に身を守ることに繋がります。全校集会の時はいつも子どもたちにこう伝えています。「体育館や運動場に全員が集まる時に、無言で素早く集合することは大切な避難訓練なのです。自分の命を自分で守るためなのです。」

## 保護者と教師が子どもに育む財産⇒「がまんできる力」

『明後日の育友会総会のご挨拶でも

お伝えする内容ですが、本校全ての保護者にご理解いただければ幸いです。』

学校は、集団生活の場であり、そこで生活できる力を身に付けるのが学校です。子どもたちにとっては、友だちや教師との関わりを通して「がまんできる力」を学ぶ場となります。毎日の学校生活の中で感じる不満などのストレスに耐えること、心の安定を保つ努力をすること、ストレスを乗り越える知恵を身に付けることで「がまんできる力」は身に付くと考えます。

友だちのとのつながりは強くありませんが、分かるようになったり、できるようになったりする自分が嬉しい**低学年**。

自分の思い通りにならないと、友だちや教師、親とぶつかってしまい、もがくことの多い**中学年**。

自分を認めてくれる友だちと強くつながり、グループの中にもろうとする**高学年**。

子どもたちのこうした心や行動の変化を認識し、「がまんできる力」を身に付けさせるには、学校と家庭の協力が不可欠です。

ほんの一言の助言で解決する課題もあれば、教師も保護者も流儀を変えなければ解決できない課題もあります。

「がまんできる力」は保護者と教師が子どもに育む財産です。学校と家庭が報告・連絡・相談を密にしながら、より良い解決策を考え、粘り強く取り組み、子どもたちに「がまんできる力」を身に付けさせましょう。

## 『家庭訪問』よろしくお願ひします

来週24日(火)

から家庭訪問が始まります。保護者の皆様には日程調整等でご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

学級開きから2週間ではありますが、各学級担任はお子様の『キラリと光る良いところ』をお知らせしようと張りきっていますのでどうぞ宜しくお願いします。

